



はじめてとらきち君からの手紙を読む方へ、はじめ君は店長の初孫です。多少の可愛いがりすぎは、お許し下さい。



はじめくん、よう君が可愛くて仕方がないんです。母親がよう君ばかりにかまっていると、自分の方に振り向かせようと、駄々をこねますが、面倒もよく見てくれます。

はじめ君も知恵が付いてきて、恥ずかしいとき言う感情が芽生えてきたようです。普段は両親のことを、「お父ちゃん、お母ちゃん」と呼んでいるのに、保育園では「パパ、ママ」と言っているそうです。写真は、取引先が出産祝いに、よう君とはじめ君の提灯を特注で作ってくれました。

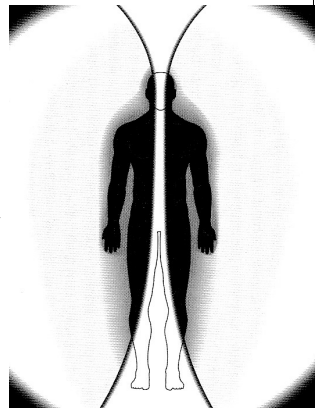
言葉です。でも、昨日のことはともかく、明日のことは心配事が多すぎますね！中国、ロシア、北朝鮮、韓国等、困った隣人たちの暴走が止まりません。一触即発な事件が毎日のように報道されています。そして、世界ではイスラム国を中心としたテロがどこかで起きています。いつ日本で起きてもお不思議ではない状況です。

「こんな時に笑っていただけるか！」と言われそうですが、でもボクたちが、心配や不安がっても何も変わりません。もう一つ笑いヨガの教えから「人は自分が思った通りになってしまいます。それは、良いことも悪いことも実現してしまいます。」

怒り、心配、不安、悲しみは心の病気を作ります。心は人の細胞まで変化させますから、肉体の病気も作ってしまいます。次の瞬間から始まる未来の楽しい夢や希望をたくさん持ってワクワクしましょよ(^\_^)「こうなったらどうしよう…」などと起きてもないことをいつも心配していると、ホントに起きてしまうかも知れません。

目に見えないエネルギー、宇宙からのエネルギーはスゴイパワーがあるようです。新規予約は6年半待ちで、待機患者は5000人以上というドクタードルフィン、地球人クリエーター松久正という整形外科専門医の不思議な先生がいらつしゃいます。

人間のエネルギー層



すべての病気や困難の原因は「神経の流れ(振動数)の狂い」と言う。目に見えている物は、すべてエネルギーの振動でできていて、体を含めて物質ほど振動数が低く、目に見えない物ほど振動数が高い。という。松久先生の治療は、宇宙の叡智でこの振動数を上げること。同時に意識レベルを変えることで一気に変わるとおっしゃってます。

笑うと振動数が上がり、気分が一気に変わる。同じ事が起こるんです。しかも、お金もかかりません(\*^\_^\*)

今年初めの読売新聞の「編集手帳」に面白いことが書かれてありました。ラクダが砂漠に棲めて、キリンが棲めないのはなぜだろう。<背が高すぎるんです>』と登場人物が語る。これは、デンマークの推理作家ユツシエーズラ・オールスマンの最新刊からの一節です。『キリンの場合、見渡す限りここには砂しかないと悟ってしまいます。幸運?にもラクダにはそれが分かりません。』

すぐ先にオアシスがあるかも知れないと期待しながら進めるのだ、と。人はラクダに似ている。見えるのは「今」だけで、明日何が起きるか誰も知らない。知らないお陰で、希望を抱いて人生の旅を続けることができる。

迎えた一年にはどんな出来事が用意されているのだろう。そこはラクダの強みで、砂嵐や炎熱ではなく、緑の泉ほつごよみが待っていると信じて歩き出すしかない。「初暦知らぬ月日は美しく(吉屋信子)」

「昨日のことは戻らない、明日のことは分からない、だから今を笑って楽しく生きましょう」笑いヨガの講演の中でいつも言う